不整脈非薬物治療ガイドライン（2018 年改訂版）
初版～2021/4/16 更新版　正誤表

記載に誤りがありましたので，お詫び申し上げますとともに下記の通り訂正致します。
（2021.9.6）

訂正箇所	誤	正
p30　図 4「冠動脈疾患に対する ICD 適応」一番右の推奨クラス	クラス IIa	クラス I
p31　図 5　タイトル	心機能低下をともなう非虚血心筋症に対する ICD 適応	心機能低下をともなう非虚血性心筋症に対する ICD 適応
p33　図 6　タイトル	心機能低下をともなう非虚血心筋症に対する ICD の適応	原因不明の失神に対する ICD の適応
p37　図 7「ブルガダ症候群に対する ICD の適応」 有症候性の右下 2 つめ	電気生理検査（2 連期外刺激以下）での VF 誘発	電気生理検査（2 連期外刺激以下）での VF 誘発あり
p37　図 7「ブルガダ症候群に対する ICD の適応」 有症候性の右下 2 つめ,「電気生理検査（2 連期外刺激以下）での VF 誘発あり」の分岐	ありの場合：クラス IIa なしの場合：クラス IIb	あり，なしの分岐を削除，すべてクラス IIa へ
p37　図 7「ブルガダ症候群に対する ICD の適応」　一番上，「タイプ 1 ブルガダ心電図（自然発生あるいは Na チャネル遮断薬誘発）」の右下 1 つめ	無症候性	無症候性（自然発生ブルガダ心電図）*2 *2：Na チャネル遮断薬誘発性の場合は慎重な経過観察
P47　表 35「ペースメーカ/ICD の適応があるもしくは植込み後の患者に対する CRT 適応の推奨とエビデンスレベル」各心機能分類の②　（3 箇所あり）	LVEF ＜ 50%	LVEF ≦ 50%

P60　表 49「アブレーションを行ううえで推奨される経験数」 「本ガイドライン」の「臨床心臓電気生理検査（人）」	－	150
P65　左段本文下から 14~15 行目	0.03～0.11%と低いものの，致死率は 70～80%と高い[580，583]．	0.02～0.11%と低いものの，致死率は 70～80%と高い[578，580，583]．
p88　右段本文上から 9 行目，18 行目	ExTra mapping	ExTRa Mapping